



2022年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月14日

上場会社名 株式会社レオクラン
 コード番号 7681 URL <https://www.leoclan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 昭吾
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 山村 誠人
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6387-1554

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第1四半期の連結業績(2021年10月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第1四半期	10,678	34.0	529	30.7	582	44.1	388	46.1
2021年9月期第1四半期	7,971	28.4	405		404		265	

(注) 包括利益 2022年9月期第1四半期 406百万円 (40.1%) 2021年9月期第1四半期 290百万円 (828.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第1四半期	197.96	197.63
2021年9月期第1四半期	135.98	135.73

(注) 2021年9月期第1四半期の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率は1000%を超えるため「」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第1四半期	18,353	5,482	29.1
2021年9月期	12,964	5,159	38.8

(参考) 自己資本 2022年9月期第1四半期 5,338百万円 2021年9月期 5,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期		0.00		40.00	40.00
2022年9月期					
2022年9月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,759	5.4	750	30.3	800	34.4	520	33.0	265.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年9月期1Q	1,960,800 株	2021年9月期	1,960,800 株
期末自己株式数	2022年9月期1Q	79 株	2021年9月期	79 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年9月期1Q	1,960,721 株	2021年9月期1Q	1,954,321 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が減少傾向にあり、地域格差があるものの、全体としては回復基調で推移いたしました。しかしながら足元では、感染力の強いオミクロン株等の変異株の出現による感染急拡大に対する懸念や、サプライチェーンの混乱及びエネルギー価格の高騰によるインフレ加速リスク等、依然として不確実性が高い状況が続いております。わが国経済においても、9月末日で緊急事態宣言が解除され、ワクチン接種の普及や各種政策の効果等もあり、社会・経済活動の正常化が進み、景気は持ち直しの動きが見られるものの、オミクロン株の感染動向や金融資本市場の変動の影響を注視する必要がある等、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する医療業界におきましては、一部の病院においては新型コロナウイルス関連の補助金による収支の改善が見られ、また、手術数や外来・入院患者数は回復傾向にあるものの、コロナ禍以前の水準には及ばず、病院経営は依然厳しい状況が続いております。また、感染者数の減少時においては、医療提供体制への負荷が一時的に軽減されるものの、新型コロナウイルス感染症の流行により顕在化した課題を踏まえ、感染症患者に対する医療と他疾患等の患者に対する医療との両立、病床の確保と症状の程度に応じた医療機関間の役割分担等、地域ごとの適切な医療提供体制の再構築が急務となっております。一方、新型コロナウイルスの収束時期に左右されるものの、今後においては、「地域医療構想」の実現に向けた丁寧な議論の積み重ねにより各医療機関において統合・再編を含めた病床転換が多く実施され、建築を伴う大型の設備投資が見込まれるものと考えております。

このような状況の中、当社グループの主要事業であるメディカルトータルソリューション事業におきましては、従前と同様に、営業エリアを限定せず、全国での受注実績により入手した病院づくりに係る最新の情報を活かし、新築・移転、再編・統合等に伴う医療機器の一括販売の受注のみならず、大型医療機器を中心とした医療機器及び医療情報システム(電子カルテ等)の新規導入及びリプレース案件の受注活動を日本全国で展開いたしております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,678,014千円(前年同期比34.0%増)、営業利益は529,648千円(同30.7%増)、経常利益は582,786千円(同44.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は388,148千円(同46.1%増)となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

① メディカルトータルソリューション事業

当事業におきましては、前連結会計年度に続き、新型コロナウイルス感染症による足元の受注環境に大きな変化はなく、感染症対策を継続しつつ積極的な営業活動を展開してまいりました。当連結会計年度におきましては、医療機器の一括販売案件の納期が上期に集中することから、売上高が上期に偏重する傾向にあります。その中でも、当第1四半期連結累計期間への偏重が強く、また、進行中の案件における追加受注や、第2四半期連結累計期間以降に見込んでいた案件の前倒し等もあり、前年同期に比べて大幅な増収増益となりました。また、営業利益は、主に増収効果による売上総利益の増加により前年同期に比べて129,067千円増加いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,404,813千円(前年同期比35.3%増)、営業利益は499,772千円(同34.8%増)となりました。

② 遠隔画像診断サービス事業

当事業におきましては、従前と同様に独自性を活かしつつ、質を重視した遠隔画像診断の提供、放射線診断専門医の安定的確保と専門性の高いノウハウを武器に、導入医療機関及び取扱件数の増加を図り、安定した成長基調を維持しております。主に増収効果による売上総利益の増加により、営業利益は前年同期に比べて3,129千円増加いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は172,301千円(前年同期比5.9%増)、営業利益は26,860千円(同13.2%増)となりました。

③ 給食事業

当事業におきましては、新規受託施設の獲得及び既存受託施設への販売強化に注力しているものの、前連結会計年度第4四半期の後半における大口顧客の解約の影響が残り、売上高、営業利益ともに前期を下回る結果となり、営業利益は前年同期に比べて7,686千円減少いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は100,900千円（前年同期比 13.8%減）、営業利益は2,305千円（同 76.9%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5,263,104千円増加し、17,018,134千円となりました。これは、現金及び預金が383,864千円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産（前連結会計年度末は受取手形及び売掛金）が5,726,024千円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて125,076千円増加し、1,334,886千円となりました。これは、有形固定資産が12,868千円減少したものの、投資その他の資産が140,893千円増加したことなどによるものです。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5,388,181千円増加し、18,353,021千円となりました。

②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5,052,192千円増加し、11,946,651千円となりました。これは、賞与引当金が69,827千円、未払法人税等が52,077千円減少したものの、買掛金が5,106,102千円、その他が103,395千円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて13,663千円増加し、924,352千円となりました。これは、役員退職慰労引当金が7,950千円、退職給付に係る負債が6,040千円増加したことなどによるものです。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ5,065,856千円増加し、12,871,004千円となりました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて322,325千円増加し、5,482,017千円となりました。これは、主に利益剰余金が309,720千円増加したことなどによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月12日に公表いたしました2022年9月期の通期業績予想に変更はありません。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

また、今後、新型コロナウイルス感染拡大が深刻化もしくは長期化した場合には、事業への影響が出てくる可能性があります。引き続き、事業及び業績に与える影響を精査してまいりますとともに、開示の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,408,721	5,024,857
受取手形及び売掛金	4,820,445	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	10,546,469
商品及び製品	187,184	94,811
原材料及び貯蔵品	1,587	1,804
その他	1,337,528	1,350,642
貸倒引当金	△436	△450
流動資産合計	11,755,030	17,018,134
固定資産		
有形固定資産	393,873	381,004
無形固定資産	90,822	87,873
投資その他の資産	725,114	866,008
固定資産合計	1,209,809	1,334,886
資産合計	12,964,840	18,353,021

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,890,021	9,996,123
1年内償還予定の社債	34,600	17,500
未払法人税等	205,905	153,827
賞与引当金	114,717	44,889
役員賞与引当金	24,700	6,400
その他	1,624,514	1,727,910
流動負債合計	6,894,459	11,946,651
固定負債		
社債	92,500	92,500
退職給付に係る負債	351,457	357,497
役員退職慰労引当金	386,080	394,030
その他	80,651	80,324
固定負債合計	910,689	924,352
負債合計	7,805,148	12,871,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	539,369	539,369
資本剰余金	498,944	498,944
利益剰余金	3,883,956	4,193,676
自己株式	△166	△166
株主資本合計	4,922,104	5,231,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,718	107,032
その他の包括利益累計額合計	111,718	107,032
非支配株主持分	125,868	143,159
純資産合計	5,159,691	5,482,017
負債純資産合計	12,964,840	18,353,021

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2021年12月31日)
売上高	7,971,544	10,678,014
売上原価	7,034,985	9,594,212
売上総利益	936,559	1,083,801
販売費及び一般管理費	531,345	554,153
営業利益	405,213	529,648
営業外収益		
受取利息	188	185
助成金収入	140	—
保険解約返戻金	—	54,000
その他	227	42
営業外収益合計	556	54,228
営業外費用		
支払利息	502	296
支払保証料	235	167
シンジケートローン手数料	499	499
その他	126	126
営業外費用合計	1,363	1,090
経常利益	404,407	582,786
税金等調整前四半期純利益	404,407	582,786
法人税、住民税及び事業税	127,545	148,905
法人税等調整額	4,399	22,440
法人税等合計	131,945	171,346
四半期純利益	272,461	411,439
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,708	23,291
親会社株主に帰属する四半期純利益	265,753	388,148

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	272,461	411,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,848	△4,685
その他の包括利益合計	17,848	△4,685
四半期包括利益	290,309	406,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	283,601	383,463
非支配株主に係る四半期包括利益	6,708	23,291

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示しておりました「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。尚、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	メディカルト ータルソリュ ーション事業	遠隔画像診断 サービス事業	給食事業			
売上高						
外部顧客への売上高	7,691,814	162,673	117,056	7,971,544	—	7,971,544
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,691,814	162,673	117,056	7,971,544	—	7,971,544
セグメント利益	370,704	23,730	9,992	404,427	785	405,213

(注) 1. セグメント利益の調整額 785千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	メディカルト ータルソリュ ーション事業	遠隔画像診断 サービス事業	給食事業			
売上高						
外部顧客への売上高	10,404,813	172,301	100,900	10,678,014	—	10,678,014
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,404,813	172,301	100,900	10,678,014	—	10,678,014
セグメント利益	499,772	26,860	2,305	528,938	709	529,648

(注) 1. セグメント利益の調整額 709千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。